

令和５年度　第６回芳賀町学校運営協議会会議録			
日　時	令和６年１月１２日（金）１８：００～２０：００		
場　所	町民会館　多目的室		
出席者	〔学校運営協議会委員〕 稲川浩司、岡田由美子、大峯俊幸、森島規仁、今井由佳、岩村智織、中山このみ、岩崎　進、 荒井一浩、今西雅子、齋藤裕美、北條麻美、小林春華（協議会委員出席１３名）		
	〔芳賀中学校〕（校長）山本　守　（教頭）柳　利道　（地域連携教員）鶴見優希 〔芳賀東小学校〕（校長）大根田裕一（教頭）半田高代　（地域連携教員）高久　誠 〔芳賀北小学校〕（校長）高津健司　（教頭）國井明美　（地域連携教員）富士井慶 〔芳賀南小学校〕（校長）生井克成　（教頭）関本恵美子（地域連携教員）那花和哲		
	〔教育委員会事務局〕 （学校教育課長）小林芳浩（主幹兼学校教育係長兼管理主事兼指導主事）高橋輝秋 （学校教育課指導主事）松本　薫（学校教育課指導主事）涌井　俊裕 （生涯学習課長）仲尾　周（生涯学習係長）大岡久美子（生涯学習課主査）小林春彦 （生涯学習係主事）片桐綾乃		
司　会	小林春彦　（議事進行）稲川浩司会長	書　記	片桐綾乃
概　要	１　開　会 ２　あいさつ ３　協議事項（進行：稲川会長） （１）本日の協議事項と流れについて説明（事務局） （２）熟議　～学校ごとのグループ・テーマで～ （３）全体で共有　～学校ごとに発表～ ４　振り返り ５　その他 ①懇親会について ②その他 ６　閉会		
１　開会 ２　あいさつ（稲川会長） ３　協議事項（進行：稲川会長） （１）本日の協議事項と流れについて説明（事務局） （２）熟議　～学校ごとのグループ・テーマで～ （３）全体で共有　～学校ごとに発表～ 【芳賀東小学校】 高久教諭：　　テーマ　楽しい農園活動を目指して キーワード　楽しく繋がる イベントや作物の有効利用を考えようということで、今まで芳賀東小学校では、授			

業にあわせて2年生でさつまいもだったり、5年生で準備をして6年生でじゃがいもだったり、教科に結び付けたカリキュラムで農園活動をしている。作ったものを自分たちで食べたり、調理をしたり、給食の食材にしたり、ボランティアさんへプレゼントをしたりした。他にも、保護者会で売ったり収穫祭を企画したり楽しい行事にしようと考えた。その中で、食改さんなど地域の方と繋がりを持ち、話し合って企画することができた。

また、農園自体の管理が必要となってくるので、ボランティアの募集やPRを町に依頼したい。そして、普段の学校支援ボランティアさんとは別に、農園の管理をできるような地域コーディネーターを探したい。そういった情報交換や広報活動を進めていくのはどうか、という意見が出た。さらに、農業に詳しい方に学校運営協議会に入っていただくのはどうだろうか。いきなり緊張した場面で名刺交換をしても親睦を深めることは難しいと思う。普段の私たちの会議や取組を見ていただいた上で飲み会をやってざっくばらんに話をして、協力を仰ぐことができればお互いに楽しみながら繋がると思う。

芳賀北小学校のはがまるふるさと学校や地産地消イベントを参考にし、情報交換をしながら農園活動に取り組んでいきたい。

【芳賀北小学校】

富士井教諭： テーマ はがまるふるさと学校の持続をし、地域に広げていく

キーワード 先を見据えていく、未来への希望

コロナ禍前の地産地消イベントを新しい形で開催するということで、はがまるふるさと学校の企画が立ち上がった。この企画を継続させていくために、未来への展望、希望を持つことが必要なのではないかということで、まずは子どもたち・地域・学校が楽しむ気持ちを持ち、楽しめる活動にする（マインド）。そして、改めて計画、打合せの大切さ（マネジメント）が話題となった。企画を持続させていくために、記録を残してこれからどうしていくべきかという話し合いを大切にしたい。

はがまるふるさと学校の中で子どもたちは、地域で採れる農作物として梨を使った梨カレーを食べたが、保護者には提供できなかったため食べたかったと意見があった。そこから、家庭教育の親子給食などで体験してもらうことも意見として挙がった。

このように、一つの企画からいろんな活動に繋がっていくことがある。今回は外部講師やPTA関係者など全員が一堂に会して打合せをするような場が持てなかったが、全体で振り返りを行うことで、いろんな視点から意見をいただき、視野を広げること、様々な活動に繋げることができると思う。地域の課題、学校の課題を共有して掘り起こすことでそれぞれの関係が深まり、よりよい活動に繋がっていくだろう。

【芳賀南小学校】

関本教頭： テーマ ボランティアを募集しよう

現在、芳賀南小学校ではみなみの会にじ、読み聞かせボランティア、マスターズボランティア、西高橋のシニアクラブの方が活躍してくださっている。

シニアクラブの皆様は、みなみの会にじが企画した学校見学ツアーに来てくれた時に面識を持つことができた。その際にボランティアについて相談したところ、快く「来るよ!」と言っていただき、学校の樹木の剪定等をやっていただけられるようになった。

こうして、いろんなグループのボランティアさんに協力していただいているが、今後どうしていくべきか。メンバーの半分ほどが保護者の読み聞かせボランティア、マスターズやにじを統合させることでどんなことができるか。

募集方法について、口コミ、学校だより、PTA・町広報誌、チラシ（北小では今のところあまり効果はない…）を活用したい。口コミで直接交渉する際も、チラシがあった方が分かりやすいのではないかという意見があった。チラシには年間活動予定や個人に負担をかけないように無理なく活動する等の活動方針、給食など楽しみもあるという情報などを入れたい。

では、いつやるか。PTA総会、学校見学ツアーでのアンケート、運動会、活動しながら声掛け等はどうかという意見があった。そして、誰がやるか。学校中心ばかりでなくコーディネーターにも協力してもらい、最終的にはコーディネーターにお任せできるようにしていきたい。

みなみの会にじは学校に入ってお掃除をしてくれたり、昼休みなどにも昔遊びやウクレレを子どもたちに教えてくれたり、様々な活動をしてきているにじを拡大していく方法や読み聞かせとにじを統合、そこにシニアクラブも巻き込んでいくなど、様々な組織の広げ方がある。

【芳賀中学校】

鶴見教諭： テーマ 大人と触れ合う機会を増やすために

学校だけでなく地域の方と触れ合って、地域の方に褒めてもらうことで生徒たちの自己肯定感を上げることができるのではないか。地域の行事、クリーン芳賀、町防災訓練、祇園祭、敬老祭、公民館等の掃除を手伝う、町民大運動会、球技大会への参加、そして参加だけでなく運営に関わることで大人と触れ合う機会を増やす。

実現には検討事項が多いかもしれないが、プロジェクトHでもただ缶を集めるだけではなく近所の方を訪問して缶を回収する、募金活動、地域・登下校の道の危険個所を地域の方と一緒に回る、交通安全期間に芳賀中の交通安全委員会の生徒も一緒に立哨する、110番の家を実際に見て回る等、大人と一緒に活動する機会を増やす。

そのために、HP、町広報誌、芳賀チャンネルなどを使って広報活動を行う。学校としては、土曜日は部活動があって活動に参加することが難しいので、日曜日に活動を入れたり、年間行事スケジュールが分かっていたら部活動単位で参加したり、大会が終わってからの期間に活動を入れたり、毎月第三日曜日の家庭の日に行事や活動を入れていただくなど、取り組みの工夫をして大人との触れ合いを増やしてもらいたい。そして、大人に自分の良いところを認めてもらって自己肯定感が高まればいいなというまとめになった。

4 振り返り（会長）

年度内あと2回となった。今日出た意見を次回の会議の中でさらに詰めて全体の合議ができれば、教育委員会に対しての意見としてまとめていきたい。

5 その他

①懇親会について

日 時：令和6年2月2日（金）午後6時から午後8時まで

場 所：芳賀温泉ロマンの湯（上延生160）

報 告：令和6年1月19日（金） 事務局（片桐 Tel 677-0009）まで

②その他

・岩村委員

教育委員会に何がお願いできるのかが分からない。具体的な例があれば意見を出しやすい。

（回答）

学校運営に関しての要望、人事（先生の人財）についての意見があればいただきたい。

・芳賀中学校プロジェクトH2について

アルミ缶の回収は2月頭まで行う予定。

花火打ち上げ 2/21（水）18：00 から

当日は正門から入っていただければ駐車場へ入れる。広報はが2月号にも掲載予定。

6 閉会